

発行：ひたちなか市の環境を良くする会
 編集：広報委員会
 事務局：ひたちなか市市民生活部環境保全課
 住所：〒312-8501 ひたちなか市東石川 2-10-1
 TEL：029-273-0111 内線 3312, 3313
 FAX：029-272-2435
 E-MAIL：kankyo@city.hitachinaka.l(ill)g.jp

環境かわら版

会報の名称決定 多数の応募ありがとうございました。「かわら版」は物を無駄にしなかった時代にも通ずるということで、約70点の応募作品の中から上記に決定しました。いずれも力作で選考には大変悩みました。



総会であいさつする渡辺会長

総会は、会則に基づき委任状を含む議決権を有する会員74名と傍聴会員5名の出席のもと、栗田副会長の開会宣言、総会成立を確認した後、百足会員を議長に選出し、八京会員と根本会員を会議録署名人に指名し始めました。

渡辺会長は冒頭、「会が発足して一年、議論を重ねながら方向付けをし一定の事業を行うことができた。二年目は更に知恵を出し合い、より多くの市民が参加できる活動を進

めたい」とあいさつしました。

議事は、この総会からの議決に生かせるよう議決権者を明確にする会則の一部改定を先議・可決し、20年度事業報告を会長及び3分科会長より報告し、賛成多数により承認され、続く決算・監査報告では、予算を残すだけでなく要請が出され、賛成多数により認定されました。

21年度事業計画案は、環境シンポジウム・環境講座の開催、啓発活動の実施などを提案、予算案は繰越金を含め約20万円規模を提案し、それぞれ賛成多数により可決されました。

二十一年度総会を開催

今年度の事業計画、予算などを承認

第一回意見交換会を開催

今年度最初の全体意見交換会が5月23日(土)大島コミュニティセンターで開催されました。

はじめに渡辺会長より、「自治基本条例をつくる市民会議」に飯村幹事、堀内幹事を委員として送り出し本会も参画すること、「市廃棄物減量等推進審議会」に「ごみ問題分科会から1名を送り出すこと、会報名称を決定したことを報告・提案し、合意されました。

次いで各分科会・委員会の活動及び計画(内容は2・3面に)の報告となり、「ごみ問題分科会へは、リサイクルだけでなくごみ自体を減らす取り組み、自治会に加入していない市民にいかに取り組んでもらうかなど。温暖化防止分科会へは、全市的なノーカーデー、雨水利用など。自然環境分科会へは、街路樹や公園樹木のせん定手法等についての意見が出されました。各委員会からの報告の後、閉会しました。

懇親会を開催

総会終了後、会費制による懇親会に37名が参加し、約一時間、ソフトドリンクと軽食をつまみながら、和気あいあいとした中、思い思いに懇親を深めていました。

今後の予定

第2回意見交換会
 日時：8月29日(土)
 10時～
 場所：未定
 (7月29日以降に事務局までお問合せ願います)

『ひたちなか市の環境を良くする会』は、市民、民間団体、事業者及び市が互いに協力し、より多くの市民や事業者が、身近な自然や環境を大切にすることを育むとともに、環境保全行動の定着を図るため活動しています。

具体的な活動を計画し実行するのは、ごみ問題、温暖化防止、自然環境の3つの分科会が中心となっています。

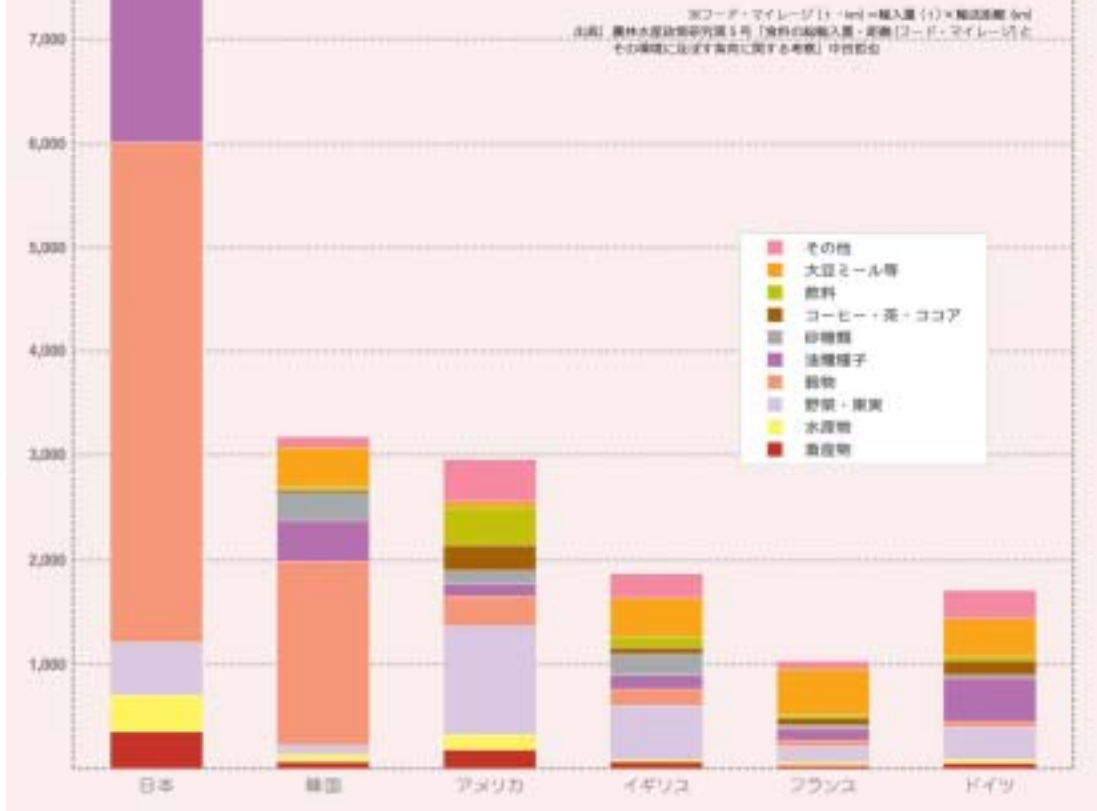
2年目となった今年は、より多くの市民や事業者が参加・行動できるような事業を行いたいと張り切っています。

活動のようす
温暖化防止分科会

「意見をまとめ、話し合う初年度」から「実践の2年目に！」と進めています。さっそく6月5・6日には、勝田駅前とひたちなか地区の大型商業施設で「市民の皆さんと一

緒に温暖化防止の輪を！」とチラシを配布、街頭キャンペーンを行いました。「のぼり旗にタスキがけ」元氣スタイルの私たちに、皆さんからの笑顔の応援が嬉しかったです！
さてテーマのひとつ、「エコドライブ」。いばらきエコドライブ推進

各国フード・マイレージの
品目別比較



出典：農林水産政策研究第5号「食料の総輸入量・距離(フード・マイレージ)とその環境に及ぼす負荷に関する考察」中田哲也
 全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト (<http://www.jccca.org/>) より

フード・マイレージ(t・km)とは?

輸入量(t)×輸送距離(km)で計算され、食料の輸送距離という意味で、食と環境の関係を表しています。輸送には船や飛行機、トラックを使用し、多くのエネルギーを消費することになります。上のグラフでも明らかなように、日本のフード・マイレージは、総量では世界中で群を抜いて大きくなっています。これは、日本の自給率の低さ(カロリーベースで約40%)が関係しています。フード・マイレージについてさらに知りたい方は、12月に開催予定の学習会にぜひご参加ください!

協議会主催で年6回開催されるセミナーに、会員が順次参加していきます。実践の中で学んだことを分科会に報告し、情報を共有しながら、皆でエコドライブを広げる活動につなげていきます。
 もうひとつのテーマは「フード・マイレージ」から温暖化防止を考える。秋には誰でも参加できる学習会を計画。皆さんと共に「地産地消」の視点から地元農業生産の現状を知り、私たちの暮らし方・食の選択を考えたいと思います。

活動のようす
ごみ問題分科会

また、当分科会は、県の「大好きいばらきエコチャレンジ2009」にグループ登録しました。「CO2削減」は、未来の地球をみんなで考えるテーマ。一人ひとりの暮らし方の選択が、世界各国の急務でもある「CO2削減」につながります。共に学び考え、生活の中で楽しく元気に実践していきましょう!

「ごみゼロひたちなか」を作ろう!

環境問題は人と人、人と自然の繋がりとという意味で、まさに幸福な生活への出発点です。その最も身近なものが「ごみ問題」。今温暖化が注目され、CO2の問題ばかりがセンセーショナルに報道されていますが、私たちは「ごみ」を減らすことが大切だと考えています。ごみを減らせば焼却時に出るCO2も、回収時の燃料消費も減ります。つまり、ごみを減らす事が環境負荷を減らします。

具体的には、ごみの分別を徹底する事や家庭ごみの全量資源化、資源化の新しい仕組み作り、そして市民の皆様の理解の連帯を作る事が必要だと考えています。

「もったいない」という言葉を世界に広めたノーベル賞受賞者のワシントン・マーティさんは、「何かを変えたいと思うのであれば、まず自

分から変えなければならぬ」と語っています。
 ごみ問題分科会では今後先進地視察を予定していますが、将来は、ひたちなか市の施設や仕組を全国から視察に来るような安全安心のまちづくりを、市民の皆様や行政と共に知恵や汗を出し合い、実現していきたいと考えています。

活動のようす

自然環境分科会

今年度の活動は、斜面林、里山、休耕田、湧水を活用したビオトープの可能性や多良崎城跡緑地環境保全地域の保全、早戸川を始めとする水辺環境の保全について私たちができることを考えていくことになりました。

今年度すでに実施した活動は、去年の視察で多良崎城跡道路沿いのごみの散乱が目に残ったことから4月にごみ拾いを行いました。約40袋分のごみを回収しましたが、やぶの奥まで拾いきれませんでした。

5月には、市下水浄化センターを視察し、家庭や事業所の下水が浄化される仕組みを学びました。また、整備中の名平洞公園について地元自治会の方から意向調整等の経緯を聞き、ビオトープ、野鳥観察小屋などを視察しました。水面には緑藻が発生し臭気があり、外来種のミシシッピアカミミガメ(緑ガメ)が繁殖していました。本来の生態系を守



多良崎城跡周辺の清掃作業

る取組が必要だと思えました。さらに、釜上自然環境保全地域を視察し、昨年ホタル幼虫やカワニナを放流したという休耕田の様子を見学しました。

6月には、市上坪浄水場を視察し、浄水の仕組を学びました。今後は、市民参加型の活動も考えて行きたいと思えます。

会員紹介

温暖化防止に取り組む

(株)セイミヤ馬渡店

当社は創業50周年を迎え、スーパーマーケットを県内外で計15店舗展開しています。市内では馬渡店一店舗ですが、「エコ・ショップ」の認定を受け、エコマーク商品、詰め替え商品などの販売、簡易包装の推進、紙バック容器・トレイの店頭回収、広告チラシ等への再生紙使用などに積極的に取り組んできました。また、20年2月からのレジ袋削減・マイバッグ運動にも参加し、お客様のご協力により88%の辞退率(21年4月)となっています。

地場野菜販売コーナー



(株)セイミヤ馬渡店外観

当店では、約120人の従業員が定期的に駐車場や周囲のごみ拾いを行うほか、照明時間を季節ごとに変えるなど節電に努めています。また、「生産者の顔が見える」「フードマイレージ」等をキーワードに地産地消推進のため地場野菜販売コーナーを設けています。
 これからも、環境に配慮しながら、できるだけ良い物をより安い価格で提供し、お客様に支持され、愛される店であり続けるよう従業員一同頑張っています。

会員紹介
自然保護に取り組む
なかみなと自然友の会

本会は、昭和52年頃、自然に対するいたわりと心のふれあいを求め、自然に関する知識の向上と自然保護を図るため数人で発足しました。現在、会長は3代目で、会員は女性が多く29名です。年間行事として、四季の自然に合わせて、ホタル、野鳥や野草、花、木等の生物観察会を開催しています。時期には、市外や県外の自然観察会、研修会等を実施し、継続事業として、湊公園のイワレンゲ植栽や除草作業、花壇の除草作業、また、各地の神社や公園に植物名称プレートの取り付けボランティアも行っていきます。

現在は月1回の観察会開催ですが、会員の参加交流はいつも笑いが絶えません。今後も会の続く限り、身近な環境やその保護のため多くを学び活動したいと思っています。

事務局・会長宅(幡谷)

263 0383



イワレンゲ植栽のようす

温暖化防止キャンペーンを実施



啓発チラシ等を配布



温暖化防止分科会は、市と協働で環境月間、環境の日である6月5日(金)、6日(土)、勝田駅とひたちなか地区の大型商業施設で温暖化防止啓発キャンペーンを実施しました。

勝田駅では朝の通勤・通学の人々に「地球温暖化を防ぐには？」の啓発チラシ、「大好きいばらきエコチャレンジ2009」参加募集チラシとポケットティッシュを配布し、大型商業施設では買い物などに訪れた人々に、これらに加えエコド



勝田駅での配布の様子

標語を募集します!

ごみ問題分科会では、「ごみの減量」をテーマにした標語を募集しています。市内に在住、通勤、通学している方なら誰でも応募できますので、作った標語、氏名、性別、年齢、住所、電話番号(連絡先)を記入し、はがき、電子メール、FAXにより、8月31日(月)必着で事務局までご応募ください。

優秀作品は次号の会報に掲載し、作った方には記念品を贈呈します。

投稿をお待ちしています

広報委員会では、会報を年3回(7, 11, 3月)発行する予定です。会報に、会員や市民の皆さんが普段感じたり、実践しているエコ活動や身近な自然などに関する記事を掲載したいと思っています。

投稿記事は、300字程度にまとめ、実名、連絡先を明記願いますが、記事署名はペンネーム、匿名を可とします。

投稿は、郵便、電子メール、FAXで事務局までお願いします。

会員を募集しています

本会では、会員を募集しています。市内に在住、通勤、通学している方なら誰でも入会できます。(個人又は家族)

また、市内で活動している団体、事業所も会員になれます。

- ・年会費(1口以上)
- 個人・家族会員 1口 500円
- 団体会員 1口 1,000円
- 事業所会員 1口 2,000円
- 詳細は事務局まで
- 現在の会員総数 5,354名

ライプ啓発チラシを配布しました。タスキがけにのぼり旗を立て、元気なあいさつをしながら各500

セットを配布し、両会場とも1時間もしないうちになくなってしまいました。

~エコドライブ

10のすすめ~

- 1 ふんわりアクセル『eスタート』
やさしい発進を心がけよう
- 2 加減速の少ない運転
交通状況に応じた安全な定速走行を
- 3 早めのアクセルオフ
エンジンブレーキを上手に使おう
- 4 カーエアコンの使用を控えめに
車内を冷やし過ぎないように
- 5 アイドリングストップ
無用なアイドリングをやめよう
- 6 暖機運転は適切に
エンジンをかけたらすぐ出発しよう
- 7 道路交通情報の活用
出かける前に渋滞情報等のチェックを
- 8 タイヤ空気圧をこまめにチェック
不適正な空気圧は燃費が悪化
- 9 不要な荷物は積まずに走行
重量が増えると燃費が悪化
- 10 駐車場所に注意
渋滞などの原因となる、違法駐車はやめよう

編集者だより

多数の方のご協力により、会報の名称も決まり、まずは第一歩を踏み出せほつとし、いつものように、付近の散歩に出かけました。まだ緑が多い地域ですので、気持ちですが、最近道端や草むらにレジ袋に入ったゴミ捨てが少なく、レジ袋有料化効果が現われているのかと実感しています。

今、エコ、エコと言われていますが、不法投棄が増えないよう監視しなければと痛感しました。

なされるままの地球と地域を色々とし、知恵を出し合い守って行く会として進んでいけたら良いなと思いました。

(N・B)